

平成 29 年度

兵庫県立視覚特別支援学校

支援部

アイ・あい だより



4月号

ご入園・ご入学・ご進学

おめでとうございます！

新年度を迎え、みごとに咲き誇る桜や色とりどりの花々が、新しい学年、新しい教室での子どもたちの期待を映しているかのようです。

さて、新年度を迎え、支援部ではメンバー一同、心機一転 気持ちを引き締め、ひとりひとりのニーズに応じた相談や情報提供ができるよう、支援の充実を図ってきたいと考えています。今後とも、ご協力をよろしくお願いいたします。

相談室から（お願い）

兵庫県立では唯一の視覚特別支援学校として、県下全域の支援や相談を行っています。おかげさまで、昨年度の相談件数は ついに 1100 件を超え、多くの市町とつながることができ、たくさんの相談の方から連絡が入るようになってきました。ありがとうございます。今年度は、以下のように考えておりますので、よろしくお願いいたします。

- ① 地域の学校で学ぶ視覚障害児童生徒も多くなりました。実際の学習環境や指導の様子を見せてもらって、お話をさせていただき、その内容を日常の指導に活かしてもらうことは、とても大切であると考えています。弱視学級については、1 学期中に学校に呼んでいただいて、視覚障害児童や生徒の障害の理解や適切な対応・指導などにつなげていきたいと考えています。弱視学級ではない視覚障害児（通常学級・特別支援学校等）も、できるだけ同様によりよろしくお願いいたします。また、担任の先生方は、来校相談には、ぜひご同席下さい。
- ② 0 歳から大人までの幅広い年齢の相談を受けています。多数の相談を受けたり各地に出向いたりしているため、ご希望の日時に相談が入らない場合がありますが、ご了承ください。また、予約の時間に 15 分以上早く到着する場合や遅れる場合は、必ずご連絡いただきますようお願いいたします。



支援部 相談担当の紹介



今年度の相談室は、島田（コーディネーター長）・北浦（副部長）が専任の相談担当として中心的に担当し、淡路の支援を菊井が担当、校内外の支援に大西（部長）が加わります。また、その他の支援部員も来校相談などで関わらせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

<p> 島田 由美子</p> <p>昨年度も、たくさんの出会いと真剣勝負の相談の日々を、楽しく過ごすことができました。ありがとうございました。</p> <p>今年度もコーディネーター長として校内外の相談を担当します。兵庫県全域の視覚障害児者への支援のために、全力で活動したいと思っています。視覚に障害のある方々が、少しでも持てる力を発揮して成長し、適切な支援を受けて生き生きと幸せになれるようお手伝いできればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。</p>	<p> 大西 秀輝</p> <p>昨年度に引き続き支援部長を務めさせていただきます。</p> <p>主に在校生の校内支援を担当していますので、教育相談で来校される皆さんや保護者の方々と顔を合わせる機会はそれほど多くはないかと思えます。本校は県下唯一の視覚障害教育のセンター校としての役割を担っています。教育相談や外部支援にも力を入れています。その窓口となるのが支援部です。支援部一同、力を合わせて皆さんとともに前へ進んでいこうと思います。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
<p> 北浦 裕記</p> <p>昨年度に引き続き、教育相談を担当します。見えにくさからくる困難の軽減のために、持てる力をより高めるために、学校や家族の支援と、本人の頑張りどころを一緒に考えていきたいと思っています。</p> <p>昨年度は学校園へ訪問し、集団の様子を見せていただくことで、支援の充実ができたと思っています。今年度も学校園と連携しながらの支援を願っています。今年もよろしくお願いいたします。</p>	<p> 菊井 澄人</p> <p>今年も主に淡路地区のアイあいスクールや来校相談、視覚補助具やパソコン・iPad 学習を担当させていただきます。また成人の相談などにも携わらせていただきます。</p> <p>私も弱視ですので、自らの経験を生かして視覚障害児・者側に立ち、より適切な支援のあり方を一緒に考え、そのニーズにこたえられるよう頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。</p>
<p><お知らせ></p> <p>相談に入らせていただいていた 原澤は、3月に無事女子を出産し、退職となりました。</p> <p>今年度は、佐原に加え、新たに土山(どやま)が同席させていただくこととなりました。どうぞよろしくお願いいたします。</p>	

